

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 クレバス			公表日	2025年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	・職員間で共有を行い、確認を行いながら適切なものを使用している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・利用人数を確認したのち、職員の配置を考え対応している。また、情緒が安定しない子がいるときは一対一の対応をしていけるよう配置の振り分けをしている。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・業務改善係をつくり、会議や朝礼などで情報を共有する場を設けている。研修を行い、全体で参加できる機会を設けることが出来ている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・アンケートを実施し、結果についても話し合いを行い、全体で共有することで、改善に向けて協議出来ている。 ・会議を毎日行い、職員全員が内容を把握できるようにしている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・業務改善委員会が内容を精査し毎週の会議で検討・他の職員への周知を行っている。 ・業務改善ボックスをつくり、職員が意見を言える環境作りが出来ている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・研修など第三者の方の意見を聞く機会を設け、必要に応じて改善している。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・月1回の研修を実施し、研修後は報告書を提出し回覧することで、他の職員の意見も見れるようにしている。 ・こまめに話し合う場をつくることで係りをより改善していけるよう、それを他の職員に詳しく伝えていけるよう個別に研修に参加している。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	・アセスメントを適切に行い、日々の会議のなかでも子どもの様子を伺いながら、客観的に分析を行い計画を作成できている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・会議などで職員全員で支援内容を確認し、一人ひとりに対する支援について話し合う場を設けている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	・幼稚園・学校の担任からの意向を聞き取り、計画書作成を実施している。 ・こまめな連携をとっていくことで、意向を聞き計画に盛り込んでいくようにしている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・日々の会議のなかで支援内容の話し合いを行い、計画に沿った支援が行えるようにしている。 ・作成した計画書は、会議で共有し、統一した支援を心がけている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・アセスメントツールは施設独自のもの、標準化されたものを使用している。 ・日々の会議の中で、子どもたちの様子を職員全体で共有するなど、適切に確認を行うことが出来ている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・支援計画をつくる中で、アセスメントやモニタリングを適切に行い、内容を踏まえたうえで、必要な支援に対する具体的な支援内容などを設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・集団活動を行う予定にしている個別活動が必要と判断したときは臨機応変に活動の変更をしたりしながら活動を行っている。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・前日に翌日の活動内容について共有し、一日の流れを確認している。朝礼で、その日の活動を全体で共有し、それぞれの役割を確認できている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・会議で支援の振り返りを行い、振り返りの内容は計画書やノートに残すことで、全体で共有出来るようにしている。 ・次の日の会議で前日の振り返りや気になる時の様子を情報共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0	・訪問先と密に連絡をとりあい、情報の共有を行いながら、訪問先の理念や支援方法を尊重した支援を心がけ、努めることが出来ている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0	・職員全体で申し送りを行い、日々の会議で共有しながら記録に残すことで、検証・改善に繋げることが出来ている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングを定期的に行い、計画の確認と見直しを行うことが出来ている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児発管・担当職員の参加・日々の活動の中で支援の現場に入っている職員が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・必要があれば適宜連絡し連携をとって対応できるようにしている。 ・その都度、連携を取って、色々な機関と一緒に支援している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・必要に応じて、情報共有を行うことで相互理解を図ることが出来ている。 ・相手側がが困惑しないよう気になることが多い子に対しては常に情報を共有するようにしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	・月1回の研修を実施し、研修後は報告書を提出し回覧することで、他の職員の意見も見られるようにしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	5		・行事を通して、周りに広告などを作成して発信していく。 ・コミュニケーションをとる機会がなかなかないため、積極的にとっていきなかつたのでそのような場を設けていけるようにしていきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時に様子を伝えたり個別で面談を行うことで、共通理解を持ちながら、保護者の方が話しやすい環境をつくることも心がけている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・個別面談や保護者会を行うことで、情報の共有や個別での対応が出来るように工夫している。	
保護者	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・利用開始時に十分な説明を行っている。 ・契約時に丁寧な説明を行っている。 ・担当者会議のなかで丁寧な説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	・密に連絡を取りながら、情報を共有し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行う事が出来ている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・送迎時や個別の面談、担当者会議などで意向を聞き、確認する機会をつくっている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0	・十分な説明を行い、同意を得ている。 ・支援内容について、保護者に直接対面で説明を行い、同意を得ている。 ・計画書ができたなら、保護者に手渡す際に支援内容をこまかく説明し同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・送迎時での会話で困りごとや様子が気になるときは、早急に面談をする段取りをとっている。	

等 への 説明 等	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者会の実施。その中で兄弟同士も交流を図っている。 ・保護者会を通して交流できる機会を作れている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・適宜適切な対応を行っている。 ・職員間でも情報を共有し、連絡を迅速に取りながら適切に対応することが出来ている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・フェイスブックやインスタグラムを活用し、週1回のブログ更新を行って、情報を発信している。月1回通信を発行し、ハグノートやLINE等を活用し、情報を伝えている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・鍵のかかる書庫で個人情報の保管を行ったり、パソコンのセキュリティを強化するなど、十分留意している。 ・常日頃から個人情報の取扱いについて話しをすることで十分に留意することができている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・子どもや保護者一人ひとりの状況に合わせて配慮を行うことができている。話しをすることが難しいときは話す内容をまとめてから話しをするようにしている。	
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	・訪問先からの相談等について、担当だけでなく全体で共有できるように申し送りや全体会議を行い、適切に対応できる環境を整えることが出来ている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	・適切にカンファレンスを行う事で、情報の共有や次回の課題についての話を行う事が出来ている。	・今以上に積極的に行っていきたい。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	・送迎時などに情報を共有するだけでなく、必要に応じて個別の面談を行いながら、支援内容等の共有を行う事が出来ている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・ルールブックなどで都度確認、周知している。 ・鍵付きの書庫で保管している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	・訪問先からの相談等について、担当だけでなく全体で共有できるように申し送りや全体会議を行い、適切に対応できる環境を整えることで、信頼関係を築きながら助言を行うことが出来ている。	
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・定期的に研修や訓練を行っている。また、通信のなかでそれぞれのマニュアルを載せることで周知するようにしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行い、職員が常に安全に意識を持ちながら支援が行えるように努めることが出来ている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハット事例について、係りをつくり事例検証を行い、職員間で共有することで、再発を防止するよう努めることが出来ている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・虐待防止委員会をつくり、日々の状況把握を行い、定期的な研修を行うことで、職員の意識づくりと適切な対応を学ぶ機会を設けることが出来ている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・身体拘束防止委員会をつくり、定期的な研修を会社全体で行うことで、適切な対応を学ぶ機会を設け、保護者にも文章等で伝えることが出来ている。	